

平成18年

広島県観光客数の動向

平成19年6月

広島県

# 目 次

## I 調査の概要

## II 調査結果の概要

1 観光客の概況 .....	1
(1) 総観光客数 .....	1
(2) 地域別観光客の状況 .....	2
(3) 発地別観光客の状況 .....	4
(4) 目的別観光客の状況 .....	7
(5) 旅行形態別観光客の状況 .....	8
(6) 交通機関別観光客の状況 .....	9
(7) 月別・季節別観光客の状況 .....	10
2 外国人観光客の状況 .....	11
3 観光客数及び観光消費額の状況 .....	14
(1) 観光客数の推移 .....	14
(2) 観光消費額の状況 .....	15

## III 観光客統計表

第1表 観光客数の推移 .....	18
第1表の2 観光客数の推移（合併後の市町区域） .....	20
第2表 平成18年発地別観光客数と観光消費額 .....	22
第3表 平成18年目的別総観光客数 .....	24
第4表 平成18年旅行形態別・交通機関別総観光客数 .....	26
第5表 平成18年月別総観光客数 .....	28
第6表 平成18年県内主要・有料観光施設の月別利用状況 .....	30

# I 調査の概要

この調査は、本県の観光客数、観光消費額等の実態を把握することを目的として、市町の協力を得て毎年実施しており、観光地ごとに観光客の数、発地、目的、形態、利用交通機関、観光消費額等について調査し、観光振興施策の立案、実施に当たっての基礎資料とする。

なお、今回調査（平成18年調査、調査期間：H18.1.1～H18.12.31）から、本県の観光客統計の代表数値を「入込観光客数」から「総観光客数」に変更した。

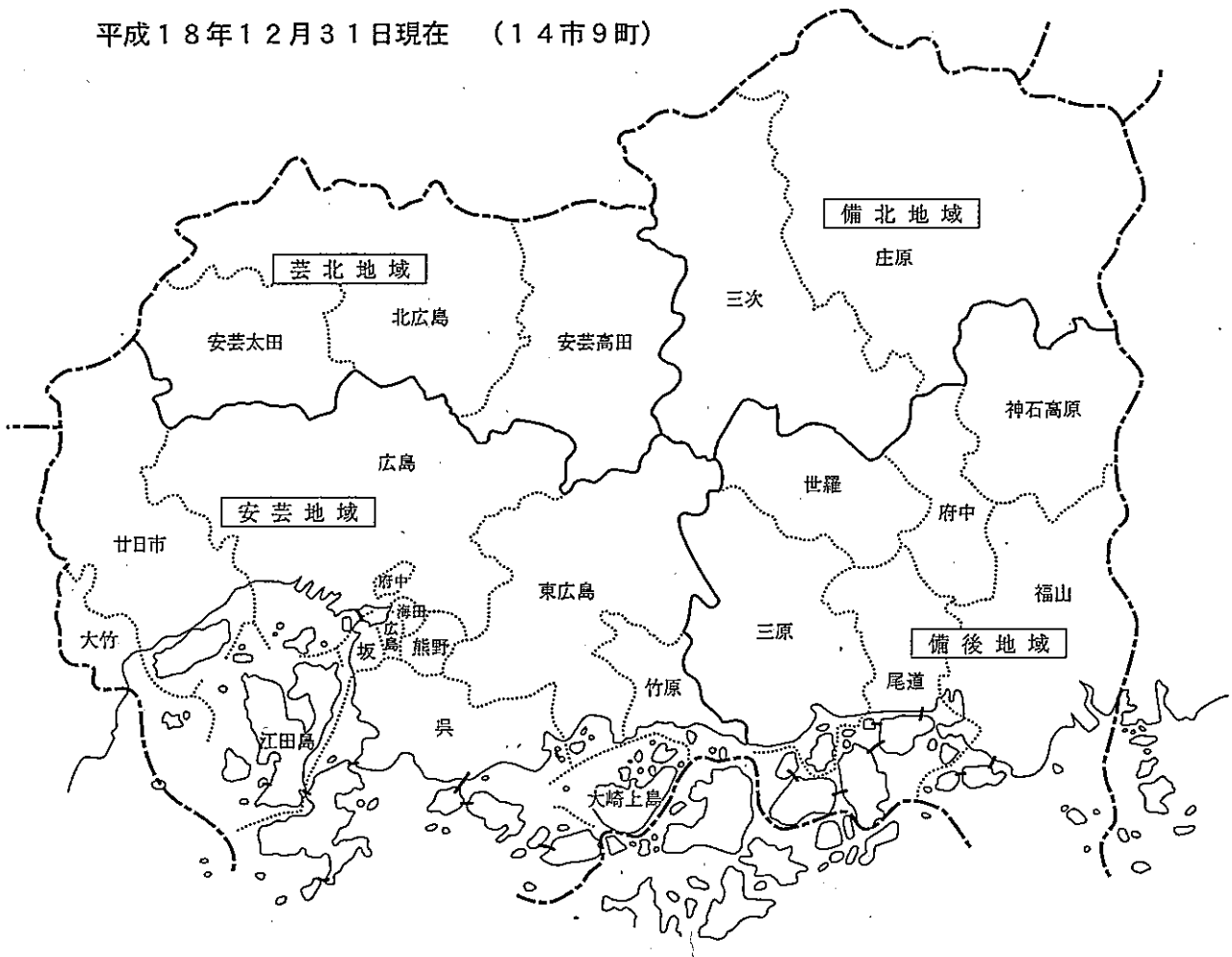
入込観光客数：各市町を当該市町の区域外から訪れた観光客数を集計したもの。

総観光客数：入込観光客数に地元観光客数（市町の区域内での観光客数）を加えたもの。

- 1 この調査は、各市町が平成18年1月から12月までの1年間の当該市町の観光客数を推計し、県で取りまとめたものである。
- 2 各市町の総観光客数は、延べ人数である。
- 3 掲載した図・表の数値の合計や比率は、単位未満を四捨五入しているため、総観光客統計表の数値と一致しない場合がある。
- 4 総観光客数の状況を地域別にみるため、次の4地域に区分して整理している。

（観光振興地域区分図）

平成18年12月31日現在（14市9町）



## Ⅱ 調査結果の概要

### 1 観光客の概況

#### (1) 総観光客数

##### ① 平成18年の総観光客数

総観光客数 5,799万人 (前年比 +4.4%)

平成18年の総観光客数は、5,799万人で、平成17年と比べて243万人(4.4%)、大型観光キャンペーン実施前の平成15年と比べて823万人(16.5%)増加した。

全県的な増要因としては、三次市の「奥田元宋・小由女美術館」(4月15日開館)や「せら夢公園」(4月14日開園)などの新規オープン施設が好評であったことや、「厳島神社」、「原爆ドーム」の世界遺産登録10周年を記念した取組みなど、地域の行事・イベントが集客を伸ばしたことが挙げられる。

##### ② 総観光客数の推移(表1, 図-1)

本県の総観光客数は、平成元年以降ほぼ順調に推移し、「瀬戸内しまなみ海道」が開通した平成11年には、はじめて5,000万人を上回った。平成16・17年には大型観光キャンペーン実施の効果もあり過去最高を更新したが、平成18年はさらにこれを上回る観光客数となった。

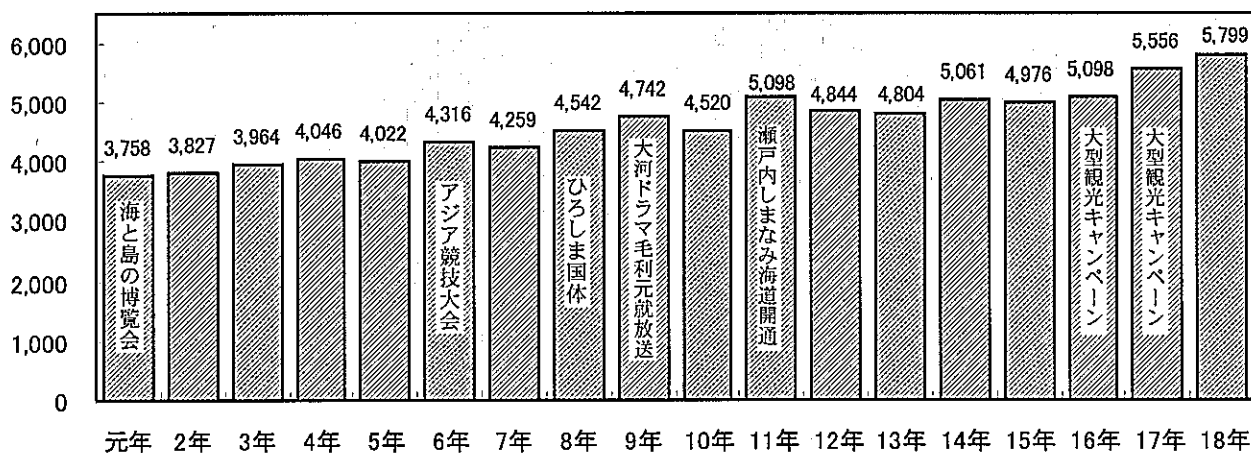
表-1 総観光客数の推移

単位 万人, %

区分	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年
総観光客数	3,758	3,827	3,964	4,046	4,022	4,316	4,259	4,542	4,742	4,520	5,098	4,844	4,804	5,061	4,976	5,098	5,556	5,799
対前年比	113.2	101.8	103.6	102.1	99.4	107.3	98.7	106.7	104.4	95.3	112.8	95.0	99.2	105.4	98.3	102.5	109.0	104.4
元年基準の指数	100.0	101.8	105.5	107.7	107.0	114.8	113.3	120.9	126.2	120.3	135.6	128.9	127.8	134.7	132.4	135.7	147.8	154.3

図-1 総観光客数の推移

単位 万人



(2) 地域別観光客の状況

① 市町別総観光客の状況 (図-2)

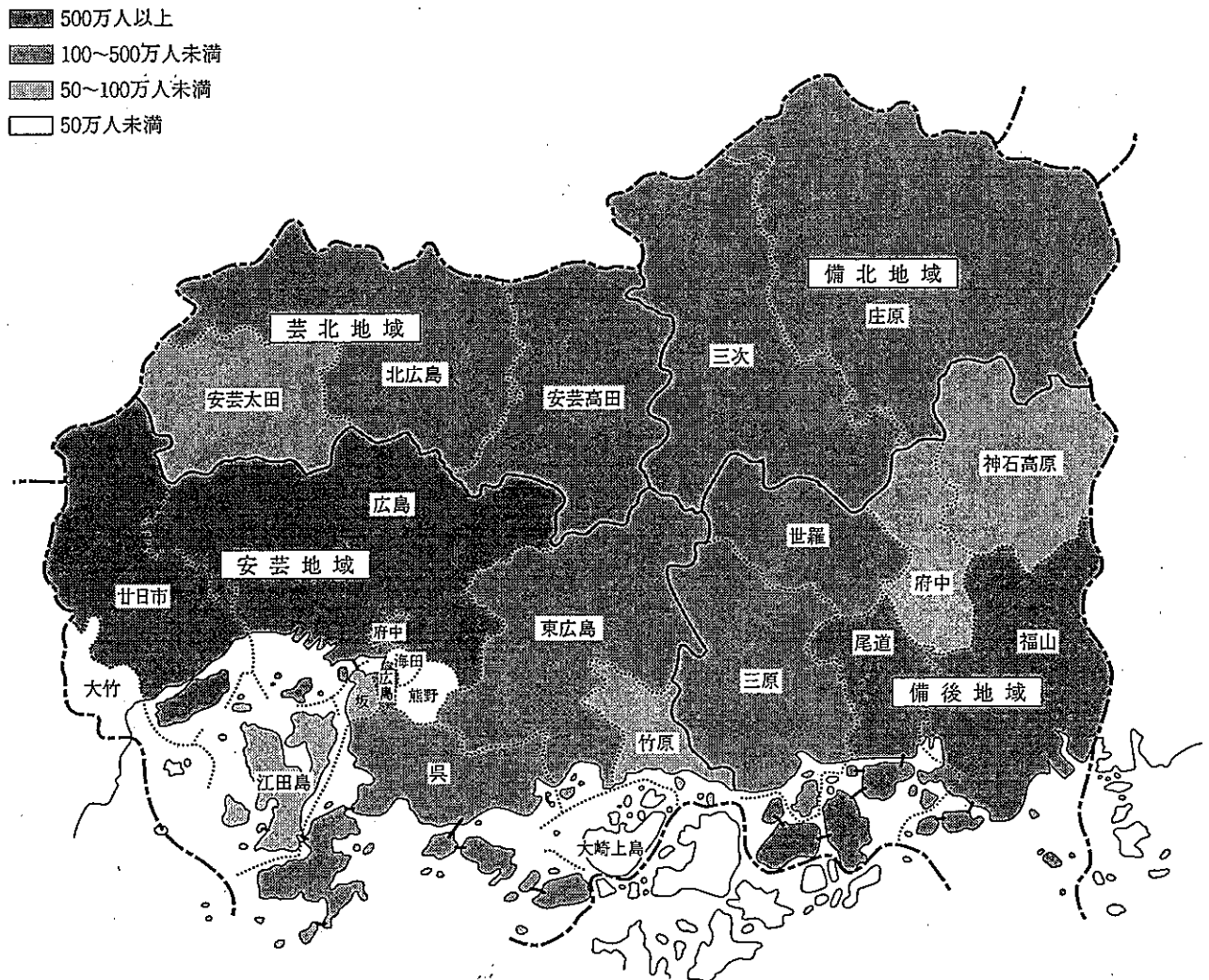
500万人以上	4市 (広島市, 尾道市, 福山市, 廿日市市)
100~500万人未満	9市町 (呉市, 三次市, 庄原市, 東広島市, 安芸高田市, 三原市, 北広島町, 世羅町, 府中町)
50~100万人未満	6市町 (府中市, 竹原市, 安芸太田町, 神石高原町, 江田島市, 坂町)
50万人未満	4市町 (大竹市, 海田町, 熊野町, 大崎上島町)

市町別に総観光客数を見ると、広島市、尾道市、福山市、廿日市市、呉市などの瀬戸内海沿岸地域を中心に、総観光客が多いことがわかる。

なお、前年に比べて総観光客数が同程度あるいは増加した市町は16、減少した市町は7である。

図-2 総観光客の市町別状況 (平成18年)

平成18年12月31日現在



② 市町別総観光客数の順位

市町別の総観光客数の上位10市町は、次のとおりである。

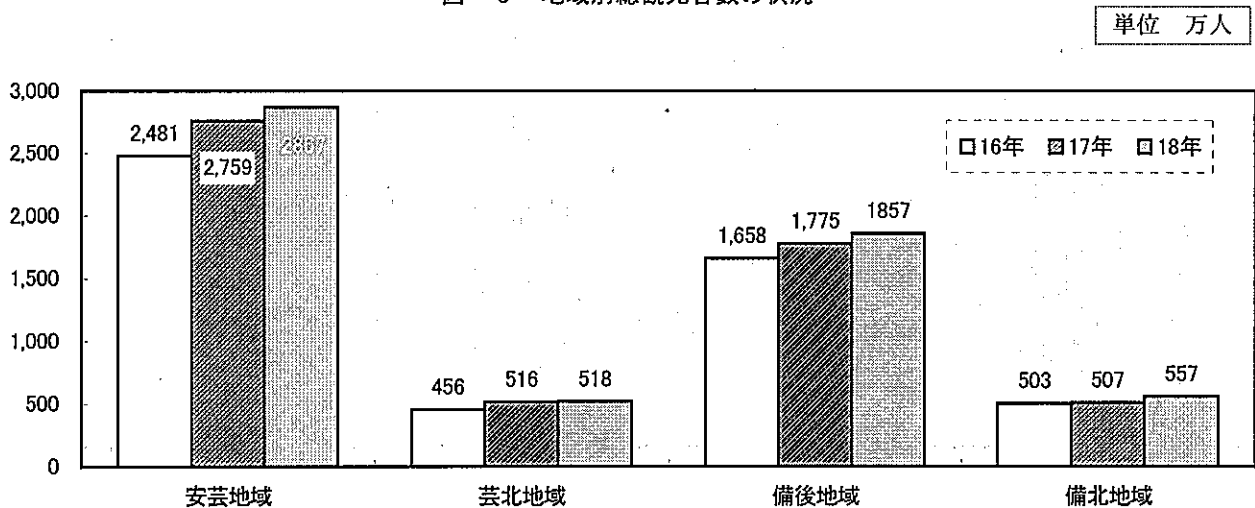
対前年比			対前年比		
1位	広島市	1,133万人 (+ 1.4%)	6位	三次市	285万人 (+ 17.1%)
2位	尾道市	655万人 (+ 6.5%)	7位	庄原市	272万人 (+ 3.3%)
3位	福山市	623万人 (+ 1.1%)	8位	東広島市	235万人 (+ 0.5%)
4位	廿日市市	538万人 (+ 3.0%)	9位	北広島町	225万人 (+ 3.2%)
5位	呉市	495万人 (+ 5.6%)	10位	安芸高田市	211万人 (- 1.4%)

上位10市町の中では、三次市が2桁増、次いで尾道市、呉市が観光客数を伸ばしている。

③ 地域別総観光客数の状況 (図-3)

地域別では、安芸地域が108万人(3.9%)、芸北地域は2万人(0.4%)、備後地域は83万人(4.7%)、備北地域は50万人(9.9%)増加し、4地域すべてで増加となった。

図-3 地域別総観光客数の状況



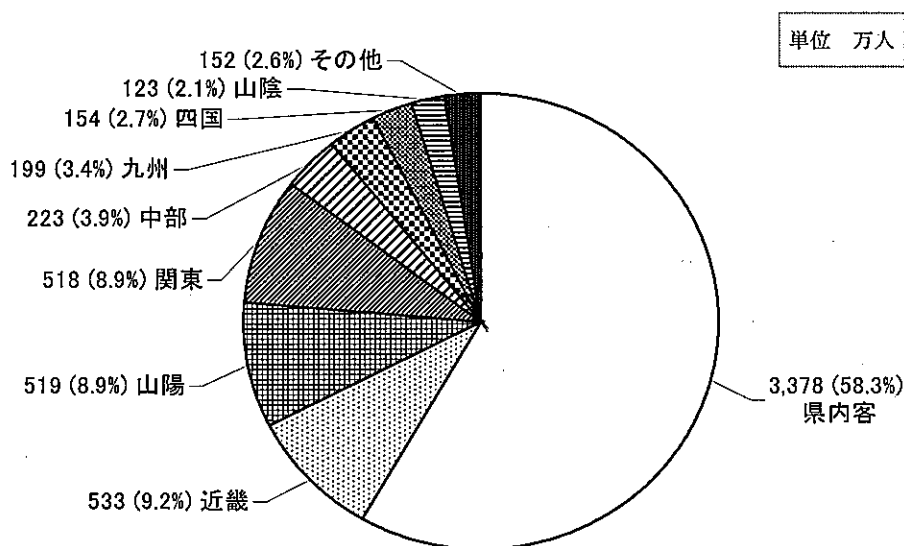
(3) 発地別観光客の状況 (図-4)

① 県内・県外観光客

県内観光客数	3,378万人	(前年比 +5.1%)
県外観光客数	2,421万人	(前年比 +3.4%)

全県の総観光客数に占める発地別の割合は、県内観光客（地元観光客を含む）が58.3%であり、県外観光客は発地別では「近畿地域」9.2%、「山陽地域」8.9%、「関東地域」8.9%、「中部地域」3.9%、「九州地域」3.4%、「四国地域」2.7%、「山陰地域」2.1%の順になっている。

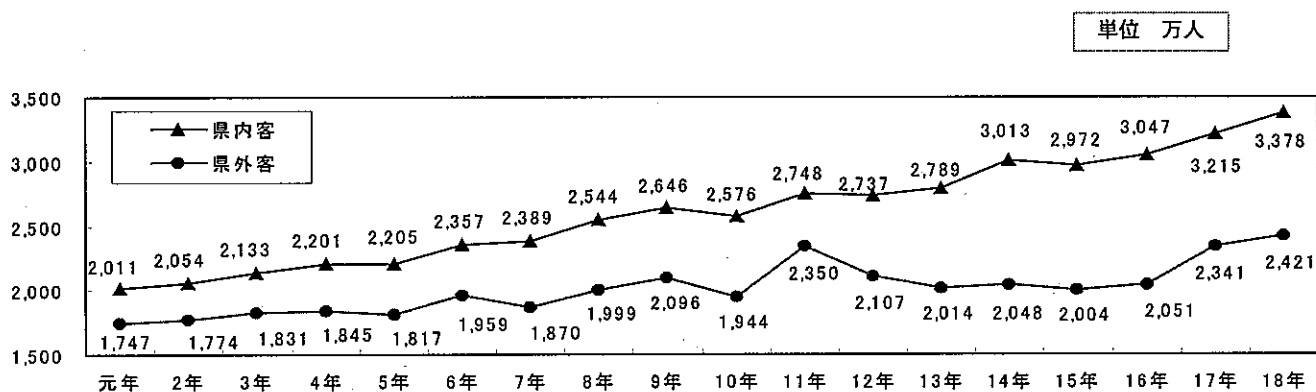
図-4 発地別総観光客数の割合



② 総観光客数に占める県内・県外観光客の推移 (図-5)

県外観光客数は平成11年以降、8年連続して2,000万人を超えている。また、県内観光客（地元観光客を含む）数も、3年連続3,000万人を超えている。

図-5 総観光客数に占める県内・県外観光客の推移

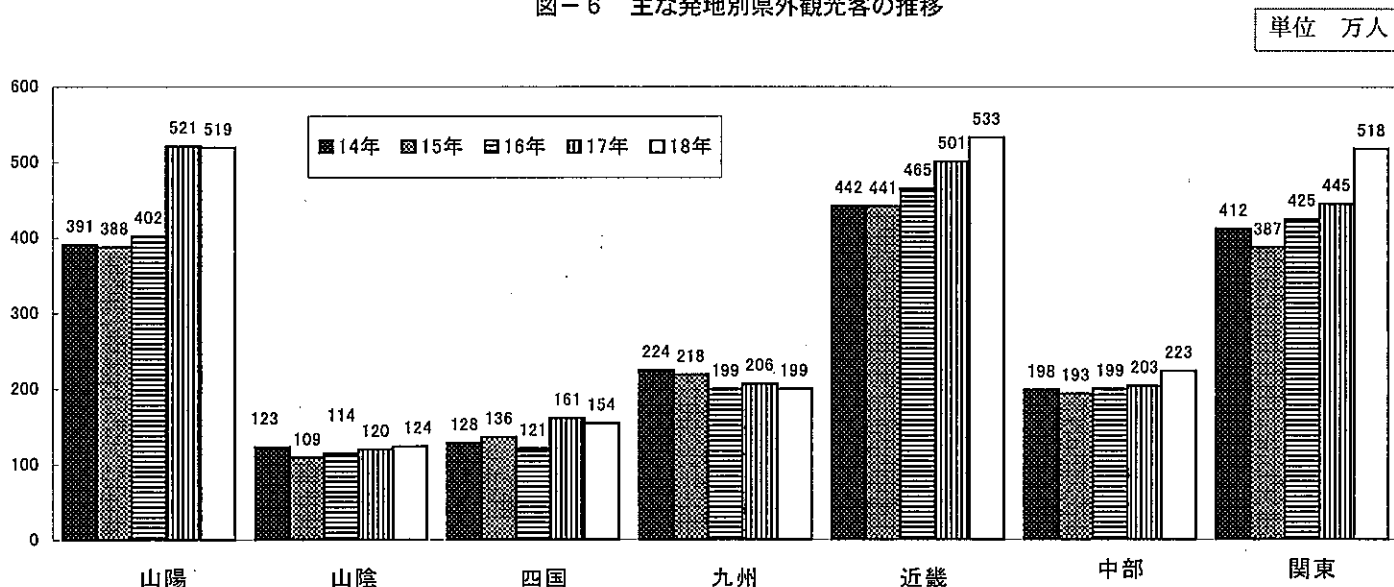


③ 県外観光客の主な発地別状況（図－6）

来県する観光客数の多い地域は、「近畿地域」533万人、「山陽地域」519万人、「関東地域」518万人の順である。

前年と比べた場合、「近畿地域」からは32万人、「中部地域」からは20万人、「関東地域」からは73万人の増加となっているが、山陰地域を除き近畿地域からの観光客が減少している。

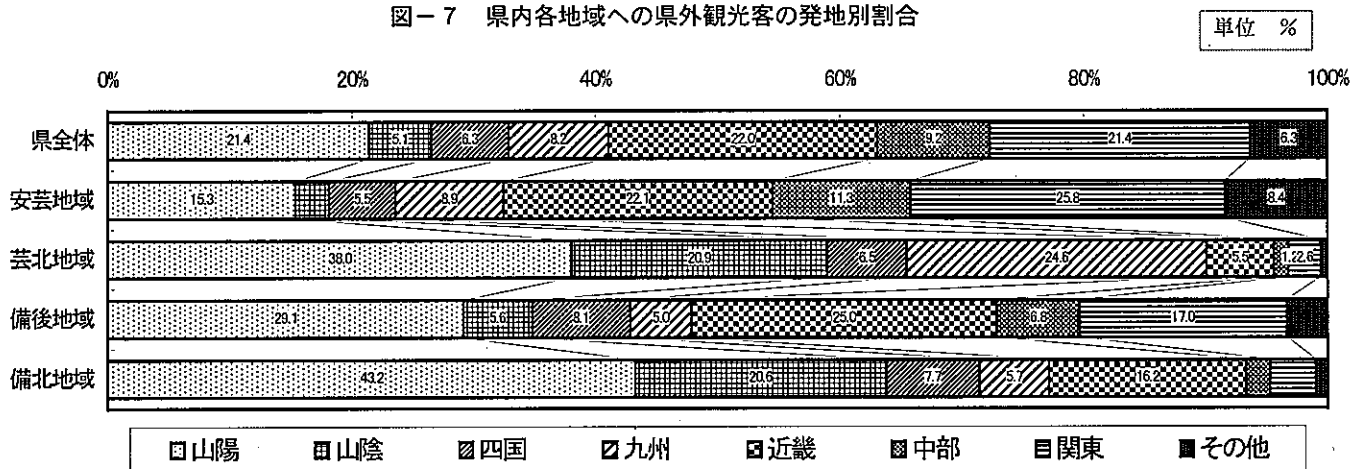
図－6 主な発地別県外観光客の推移



④ 地域別発地別県外観光客の状況（図－7）

安芸地域は「関東、近畿地域」など大都市圏からの観光客が高い割合を占めている。また、芸北地域は「山陽、九州地域」から、備後地域は「山陽、近畿地域」から、備北地域は「山陽地域」と近県からの観光客が高い割合を占めている。

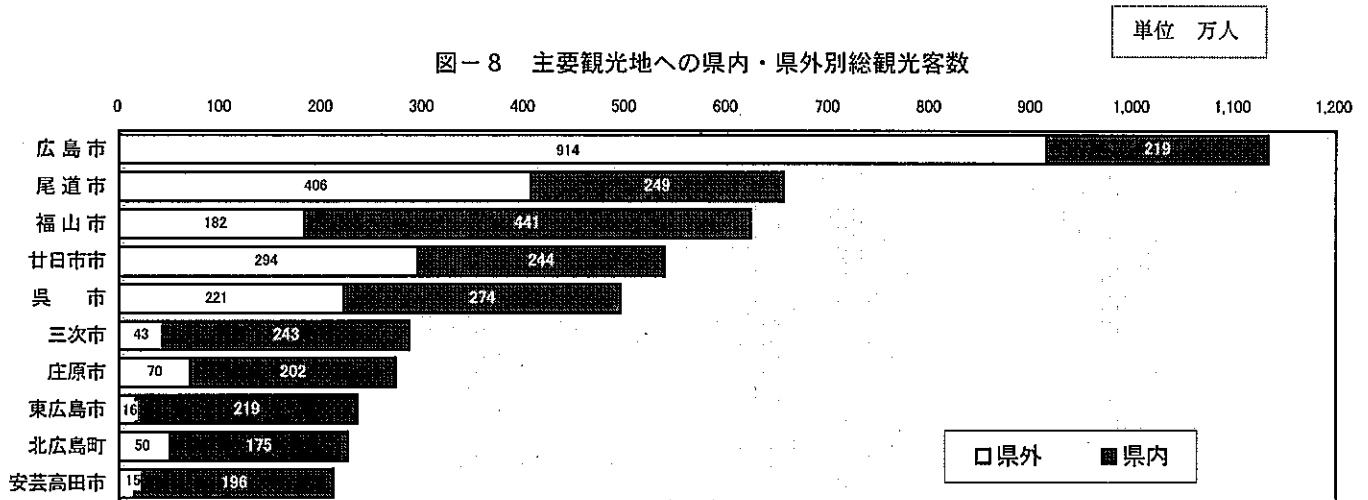
図－7 県内各地域への県外観光客の発地別割合





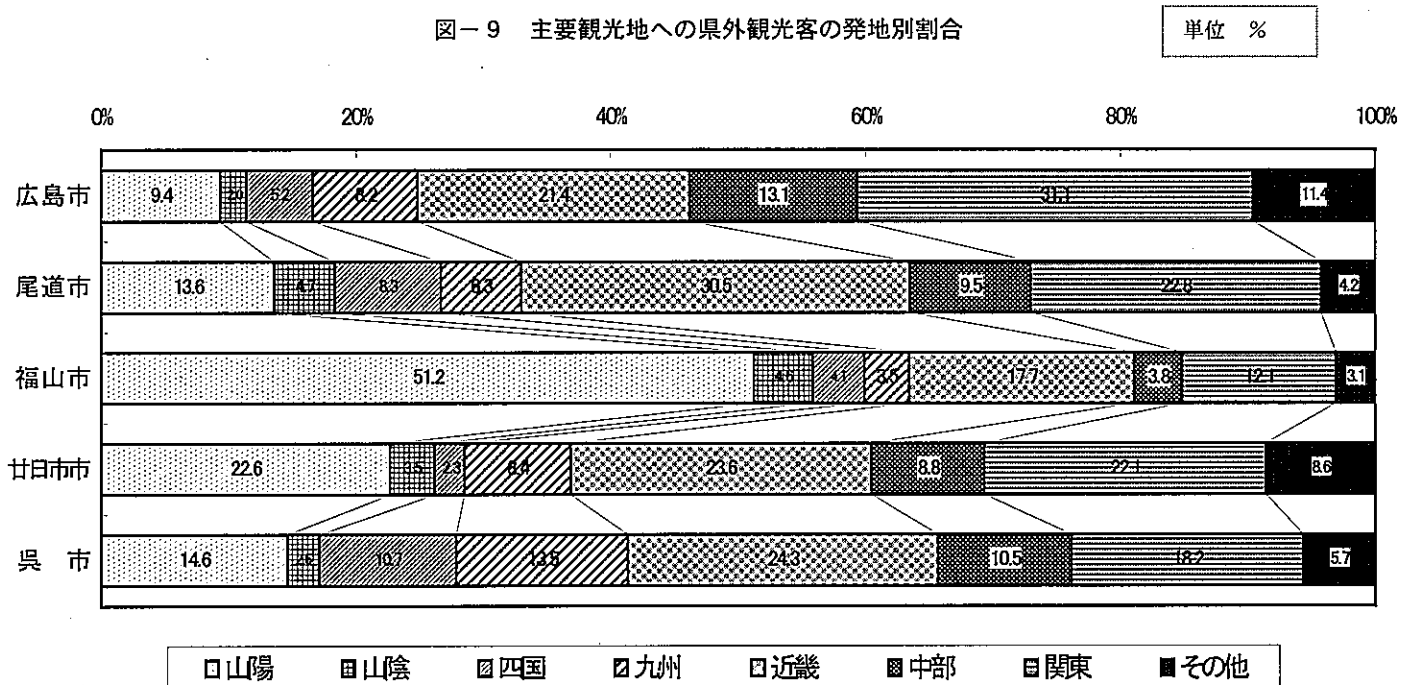
⑤ 主要観光地への県内・県外別総観光客数の状況（図－8）

観光客数の上位10市のうち、県外客の比率が県全体の平均41.8%を上回っているのは、広島市（80.7%）、尾道市（61.9%）、廿日市市（54.6%）、呉市（44.6%）の4市であった。



⑥ 主要観光地への県外観光客の発地別状況（図－9）

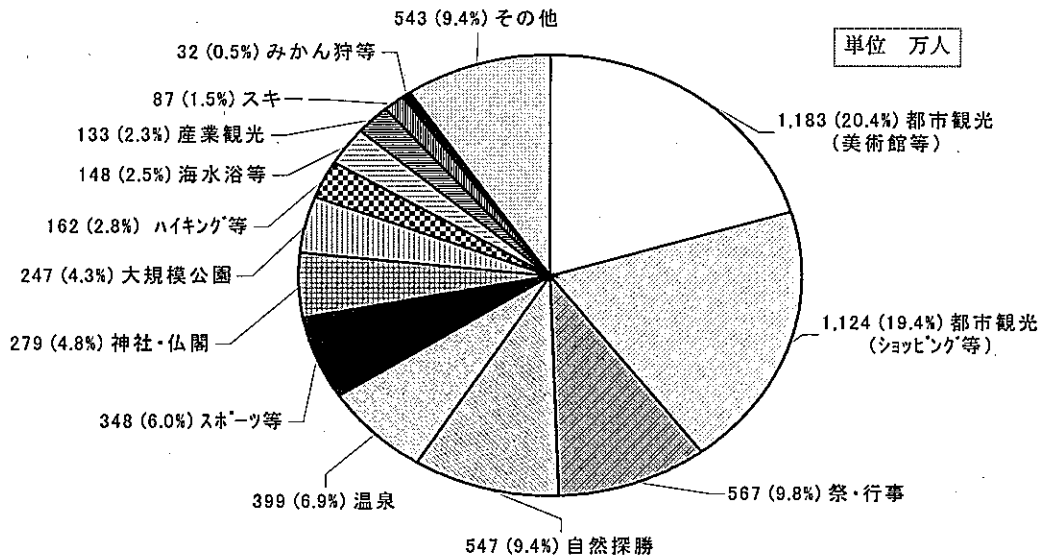
県外からの観光客数が多い上位5市を見ると、県外客が半数以上を占める広島市、尾道市、廿日市市は「関東、近畿地域」の大都市圏から、福山市については「山陽地域」など近県地域からの観光客が高い割合を占めている。



(4) 目的別観光客の状況 (図-10・11)

目的別では、「都市観光」が39.8%と最も高く(うち「美術館等」が20.4%、「ショッピング等」が19.4%)、次いで「祭・行事」の9.8%、「自然探勝」の9.4%となっている。

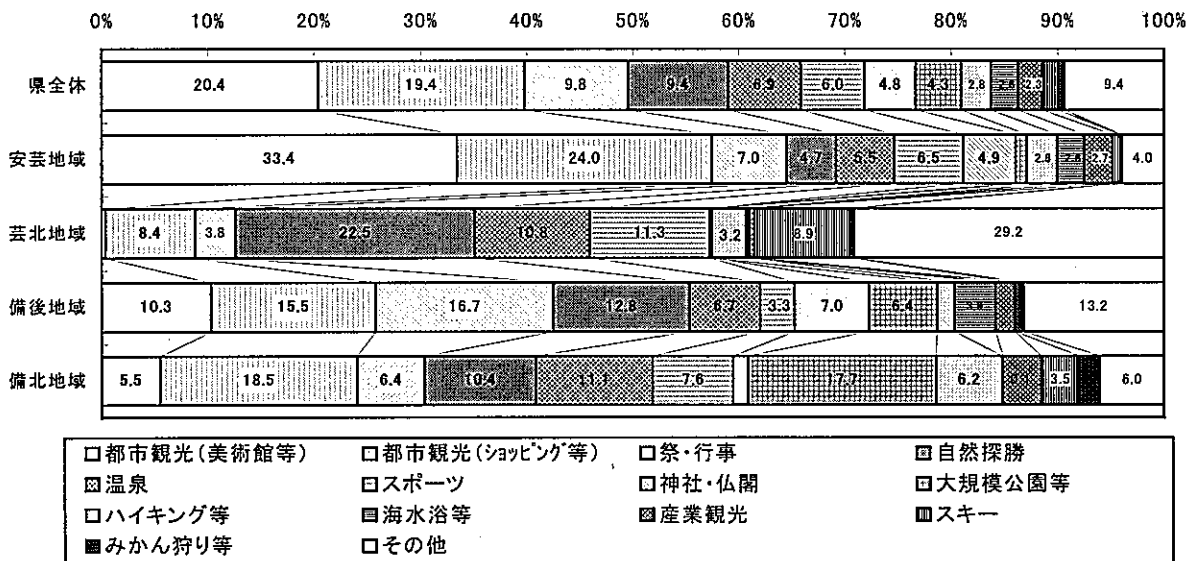
図-10 目的別総観光客数の割合



(注) 都市観光：都市を見たり，都市で学ぶことを目的としたもの  
 美術館等：美術館，博物館，動・植物園，水族館等  
 ショッピング等：非日常の買い物や食事，映画鑑賞等  
 産業観光：工場見学，特産品づくりを目的としたもの

次に，地域別に目的別観光客の割合を見ると，安芸地域では「都市観光」が圧倒的に多く，芸北地域では「自然探勝」，備後地域では「祭・行事」と「都市観光」，備北地域では「都市観光」と「大規模公園等」が高い割合となっている。

図-11 地域別目的別総観光客数の割合



(5) 旅行形態別観光客の状況 (表-2)

① 日帰り客・宿泊客の状況

総観光客数のうち日帰り客数は5,068万人(87.4%), 宿泊客は731万人(12.6%)となっている。

② 地域別日帰り客・宿泊客の状況

地域別にみると、日帰り客は、安芸地域2,381万人、備後地域1,676万人、備北地域507万人、芸北地域504万人の順になっている。

また、宿泊客は、安芸地域486万人が県全体の3分の2(66.5%)を占めており、次いで備後地域181万人、備北地域50万人、芸北地域14万人となっている。

③ 一般客・団体客・修学旅行者の状況

総観光客数を一般客、団体客、修学旅行者別にみると、一般客が4,908万人と最も多く全体の84.6%を占めている。団体客は835万人、修学旅行者は56万人となっている。

(注) 団体客：10人以上の団体旅行者、一般客：団体客、修学旅行者以外の旅行者

表-2 地域別旅行形態別総観光客数

(単位 万人, %)

区 分	日帰り・宿泊客の別				一般・団体・修学旅行の別					
	日帰り		宿泊		一般客		団体客		修学旅行	
	観光客数	構成比	観光客数	構成比	観光客数	構成比	観光客数	構成比	観光客数	構成比
安芸地域	2,381	83.1	486	16.9	2,337	81.5	477	16.7	53	1.8
芸北地域	504	97.4	14	2.6	468	90.4	50	9.6	0	0
備後地域	1,676	90.3	181	9.7	1,633	87.9	223	12.0	1	0.1
備北地域	507	91.0	50	9.0	470	84.5	85	15.2	2	0.3
広島県全体	5,068	87.4	731	12.6	4,908	84.6	835	14.4	56	1.0

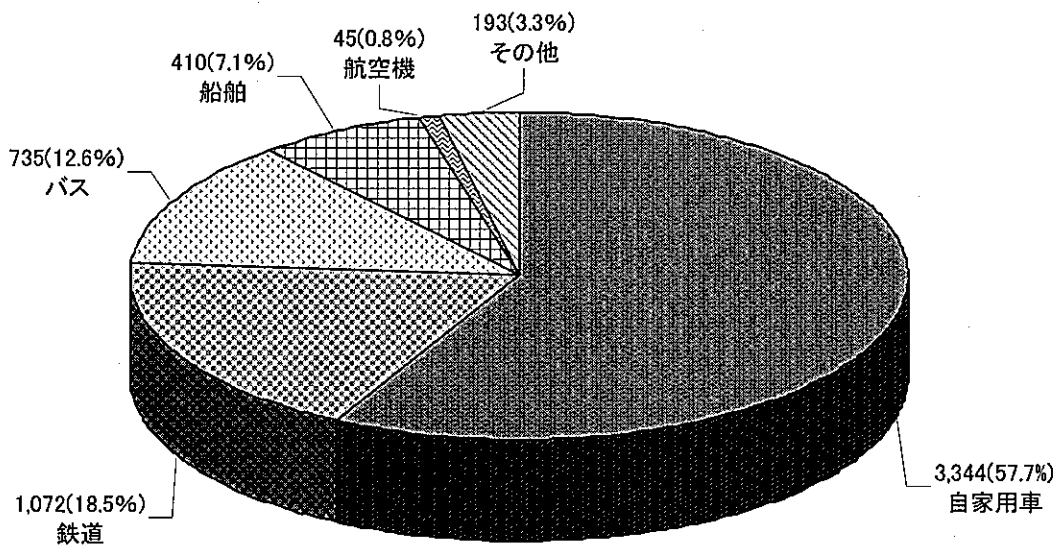
(6) 交通機関別総観光客の状況 (図-12)

総観光客の利用交通機関をみると、自家用車を利用したいわゆる「マイカー客」が、3,344万人と最も多く、マイカー客は観光客全体の57.7%を占めている。

また、鉄道利用者は1,072万人、バス利用者は735万人となっている。

図-12 交通機関別総観光客の推移

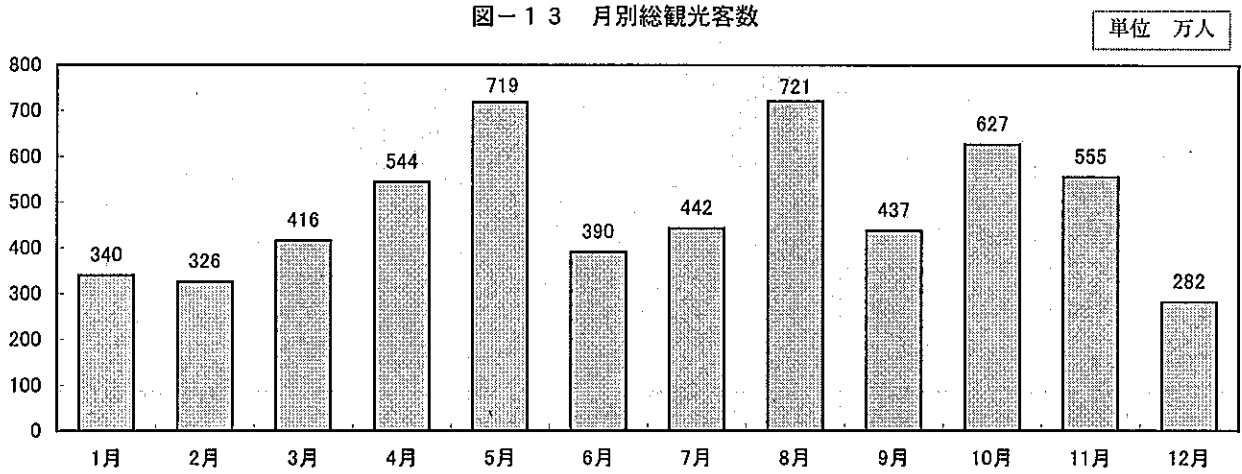
単位 万人



(7) 月別・季節別観光客の状況

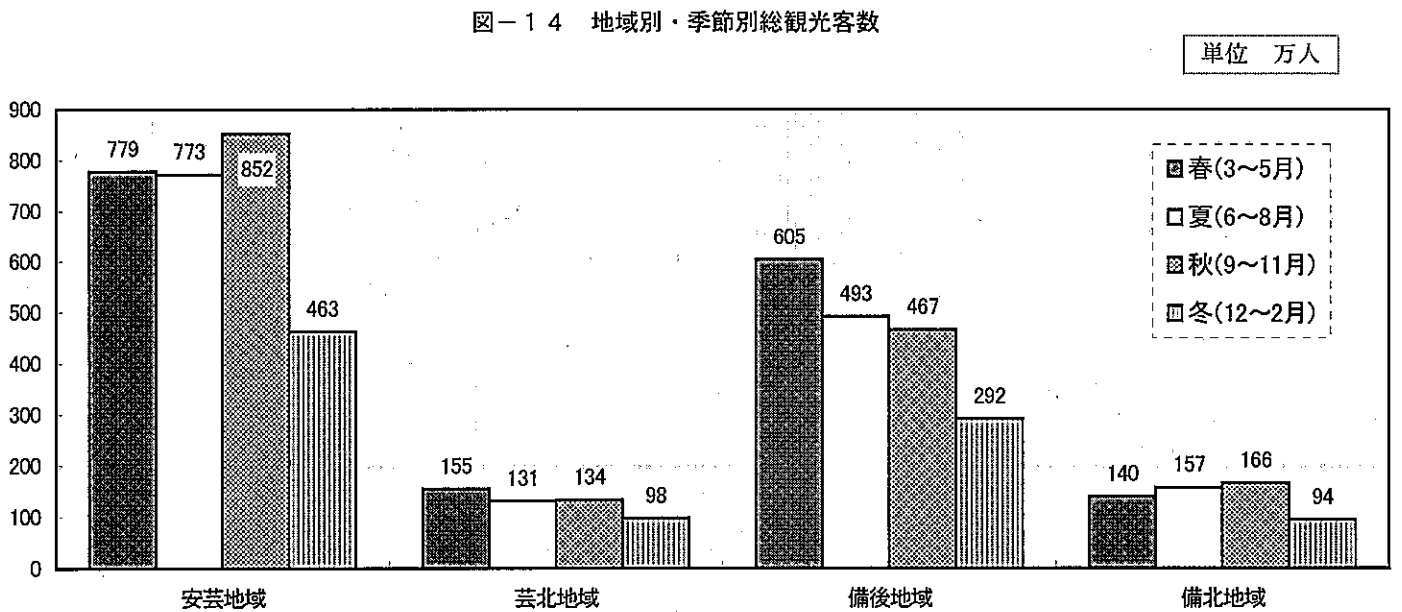
① 月別総観光客数の状況 (図-13)

月別に見ると、最も観光客が多かったのは、8月の721万人、次いで5月の719万人、10月の627万人、11月の555万人となっている。



② 地域別・季節別総観光客数の状況 (図-14)

季節別に見ると、安芸地域、備北地域においては、秋に観光客が最も多くなっている。また、備後地域、芸北地域においては花のシーズンである春に観光客が多くなっている。



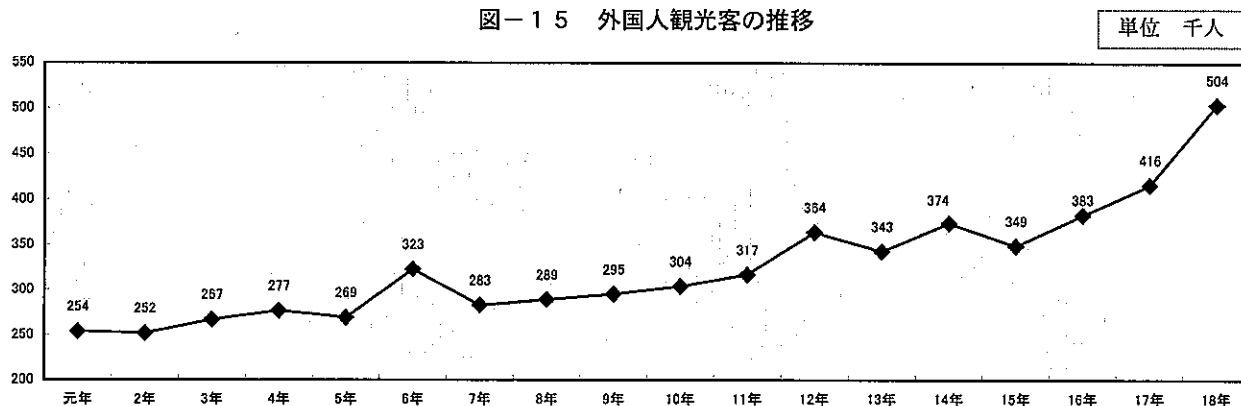
## 2 外国人観光客の状況 (図-15・16, 表-3)

外国人観光客数 504千人 (前年比 +21.0%)

平成18年に本県を訪れた外国人観光客の国・地域別状況を示したのが表3(12~13ページに掲載)である。

本県を訪れた外国人観光客は504千人となっており、前年と比べて87千人(21.0%)増加し、過去最多となっている。

図-15 外国人観光客の推移



次に、地域別に外国人観光客の割合を見ると、アジア州からの観光客が、全体の30.0%を占めて最も高く、次いで、アメリカ州が26.0%となっている。なお、国別では米国が第1位(22.4%)、第2位が韓国(8.6%)、第3位が中国(8.4%)となっている。

図-16 地域別外国人観光客の割合

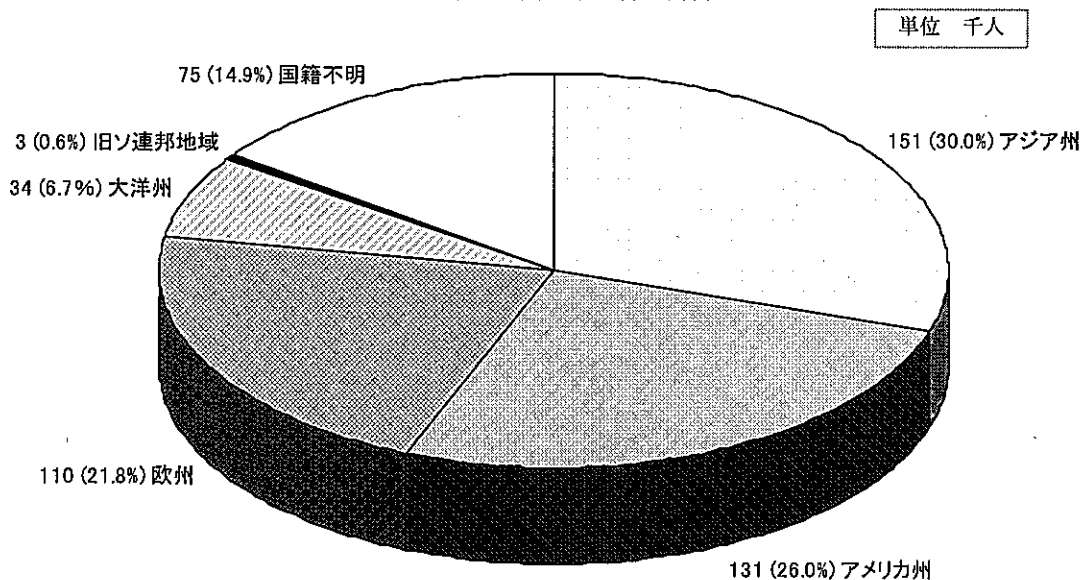


表-3 外国人観光客

区分		米 国	カナダ	アメリカ州 計	オーストラ リア	大 洋 州 計	イギリス	ドイツ	フランス	欧 州 計	旧ソ連邦 地 域
安 芸 地 域	実 数	104,155	9,584	119,867	28,054	32,447	22,905	21,257	17,950	101,307	2,529
	構成比	23.9	2.2	27.5	6.4	7.4	5.3	4.9	4.1	23.3	0.6
芸 北 地 域	実 数	148	8	205	6	6	102	13	5	229	0
	構成比	9.0	0.5	12.4	0.4	0.4	6.2	0.8	0.3	13.9	0.0
備 後 地 域	実 数	7,820	256	9,980	1,100	1,400	1,960	1,070	353	8,055	353
	構成比	13.3	0.4	17.0	1.9	2.4	3.3	1.8	0.6	13.7	0.6
備 北 地 域	実 数	936	139	1,112	103	126	109	14	37	189	18
	構成比	12.4	1.8	14.7	1.4	1.7	1.4	0.2	0.5	2.5	0.2
合 計 (A)	実 数	113,059	9,987	131,164	29,263	33,979	25,076	22,354	18,345	109,780	2,900
	構成比	22.4	2.0	26.0	5.8	6.7	5.0	4.4	3.6	21.8	0.6
平成17年 (B)	実 数	120,436	9,770	140,401	34,726	39,096	24,051	19,960	14,419	92,021	2,313
	構成比	28.9	2.3	33.7	8.3	9.4	5.8	4.8	3.5	22.1	0.6
平成17年比	(A/B)	93.9	102.2	93.4	84.3	86.9	104.3	112.0	127.2	119.3	125.4

(注) 各州計には、当該州のその他の国・地域からの観光客数を含む。

の 国 籍 ・ 地 域 別 状 況

(単位：人、%)

中 国	台 湾	印 度	韓 国	マレーシア	フィリピン	シンガポール	タ イ	アジア州 計	その他 不 明	合 計	平成17年	
												うち香港
35,186	3,451	23,400	934	32,608	1,761	6,250	3,106	8,619	125,690	53,871	435,711 (86.5)	339,749 (81.6)
8.1	0.8	5.4	0.2	7.5	0.4	1.4	0.7	2.0	28.8	12.4	100.0	
766	0	0	51	119	0	15	0	0	1,151	56	1,647 (0.3)	1,177 (0.3)
46.5	0.0	0.0	3.1	7.2	0.0	0.9	0.0	0.0	69.9	3.4	100.0	
4,662	50	1,850	494	9,923	403	397	264	121	19,709	19,289	58,786 (11.7)	60,048 (14.4)
7.9	0.1	3.1	0.8	16.9	0.7	0.7	0.4	0.2	33.5	32.8	100.0	
1,701	383	536	274	816	88	789	92	64	4,436	1,670	7,551 (1.5)	15,448 (3.7)
22.5	5.1	7.1	3.6	10.8	1.2	10.4	1.2	0.8	58.7	22.1	100.0	
42,315	3,884	25,786	1,753	43,466	2,252	7,451	3,462	8,804	150,986	74,886	503,695 (100.0)	416,422 (100.0)
8.4	0.8	5.1	0.3	8.6	0.4	1.5	0.7	1.7	30.0	14.9	100.0	
25,428	1,932	12,150	1,785	29,381	1,126	2,265	2,112	5,209	94,814	47,777	416,422	
6.1	0.5	2.9	0.4	7.1	0.3	0.5	0.5	1.3	22.7	11.5	100.0	
166.4	201.0	212.2	98.2	147.9	200.0	329.0	163.9	169.0	159.2	156.7	121.0	

合計、平成17年欄の( )内は県全体に占める割合(%)



### 3 観光客数及び観光消費額の状況

#### (1) 観光客数の推移 (表-4)

平成18年の総観光客数は5,799万人となり、そのうち入込観光客(地元観光客を除く)は22万人(0.5%)増加し、4,366万人となっている。

また、地元(市町内)観光客は1,433万人で前年に比べて221万人(18.3%)増加し、総観光客数に占める割合は24.7%となっている。

表-4 観光客数の推移

(単位 万人, %)

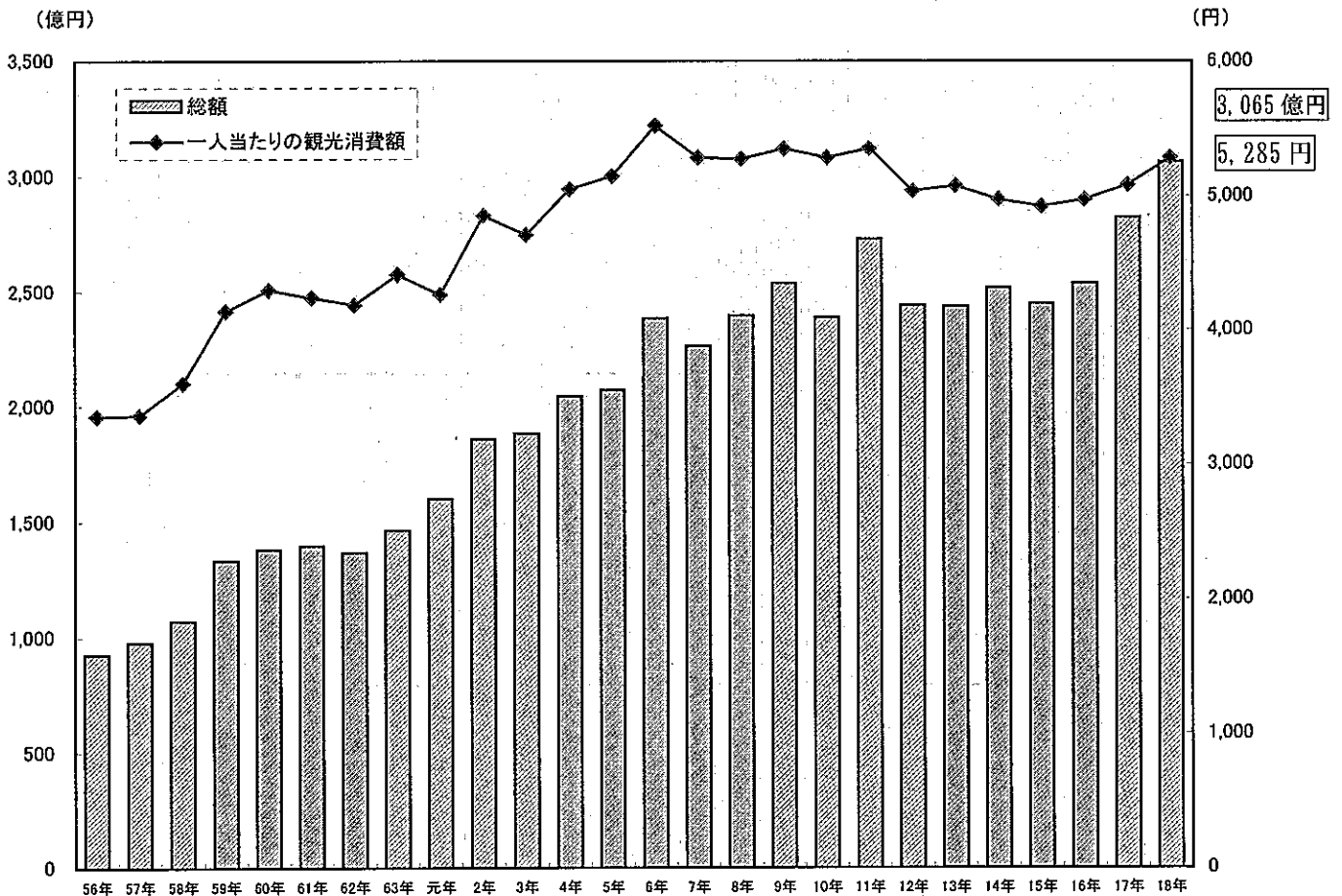
区分	年次	県内観光客			県外観光客 (C)	入込観光客 (B)+(C)	総観光客数 (A)+(B)+(C)
		地元観光客(A)	市町外観光客(B)	計(A)+(B)			
実 数	56年	379	1,000	1,379	1,387	2,387	2,766
	57年	404	1,108	1,512	1,394	2,502	2,906
	58年	430	1,140	1,570	1,408	2,548	2,978
	59年	462	1,177	1,639	1,580	2,757	3,219
	60年	468	1,140	1,608	1,605	2,745	3,213
	61年	497	1,180	1,677	1,619	2,799	3,296
	62年	504	1,214	1,718	1,547	2,761	3,265
	63年	518	1,223	1,741	1,578	2,801	3,319
	元年	656	1,355	2,011	1,747	3,102	3,758
	2年	667	1,387	2,054	1,774	3,161	3,828
	3年	696	1,437	2,133	1,831	3,268	3,964
	4年	711	1,490	2,201	1,845	3,335	4,046
	5年	749	1,456	2,205	1,817	3,273	4,022
	6年	817	1,540	2,357	1,959	3,499	4,316
	7年	836	1,553	2,389	1,870	3,423	4,259
	8年	893	1,651	2,544	1,999	3,650	4,543
	9年	900	1,746	2,646	2,096	3,842	4,742
	10年	898	1,678	2,576	1,944	3,622	4,520
11年	960	1,788	2,748	2,350	4,138	5,098	
12年	984	1,753	2,737	2,107	3,860	4,844	
13年	1,042	1,747	2,789	2,014	3,761	4,803	
14年	1,126	1,887	3,013	2,048	3,935	5,061	
15年	1,081	1,891	2,972	2,004	3,895	4,976	
16年	1,162	1,885	3,047	2,051	3,936	5,098	
17年	1,212	2,003	3,215	2,341	4,344	5,556	
18年	1,433	1,945	3,378	2,421	4,366	5,799	
構 成 比	56年	13.7 (27.5)	36.2 (72.5)	49.9 (100)	50.1	86.3	100
	57年	13.9 (26.7)	38.1 (73.3)	52.0 (100)	48.0	86.1	100
	58年	14.4 (27.4)	38.3 (72.6)	52.7 (100)	47.3	85.6	100
	59年	14.4 (28.2)	36.6 (71.8)	50.9 (100)	49.1	85.6	100
	60年	14.6 (29.1)	35.5 (70.9)	50.0 (100)	50.0	85.4	100
	61年	15.1 (29.6)	35.8 (70.4)	50.9 (100)	49.1	84.9	100
	62年	15.4 (29.3)	37.2 (70.7)	52.6 (100)	47.4	84.6	100
	63年	15.6 (29.8)	36.8 (70.2)	52.5 (100)	47.5	84.4	100
	元年	17.5 (32.6)	36.1 (67.4)	53.5 (100)	46.5	82.5	100
	2年	17.4 (32.5)	36.2 (67.5)	53.7 (100)	46.3	82.6	100
	3年	17.6 (32.6)	36.3 (67.4)	53.8 (100)	46.2	82.4	100
	4年	17.6 (32.3)	36.8 (67.7)	54.4 (100)	45.6	82.4	100
	5年	18.6 (34.0)	36.2 (66.0)	54.8 (100)	45.2	81.4	100
	6年	18.9 (34.7)	35.7 (65.3)	54.6 (100)	45.4	81.1	100
	7年	19.6 (35.0)	36.5 (65.0)	56.1 (100)	43.9	80.4	100
	8年	19.7 (35.1)	36.3 (64.9)	56.0 (100)	44.0	80.3	100
	9年	19.0 (34.0)	36.8 (66.0)	55.8 (100)	44.2	81.0	100
	10年	19.9 (34.9)	37.1 (65.1)	57.0 (100)	43.0	80.1	100
11年	18.8 (34.9)	35.1 (65.1)	53.9 (100)	46.1	81.2	100	
12年	20.3 (36.0)	36.2 (64.0)	56.5 (100)	43.5	79.7	100	
13年	21.7 (37.4)	36.4 (62.6)	58.1 (100)	41.9	78.3	100	
14年	22.2 (37.4)	37.3 (62.6)	59.5 (100)	40.5	77.8	100	
15年	21.7 (36.4)	38.0 (63.6)	59.7 (100)	40.3	78.3	100	
16年	22.8 (38.1)	37.0 (61.9)	59.8 (100)	40.2	77.2	100	
17年	21.8 (37.7)	36.1 (62.3)	57.9 (100)	42.1	78.2	100	
18年	24.7 (42.4)	33.5 (57.6)	58.3 (100)	41.7	75.3	100	

(2) 観光消費額の状況 (図-17)

平成18年に、観光客が本県において交通費、宿泊料、みやげ品代、飲食代、入場料などに消費した観光消費額の総額は3,065億円で、前年に比べて240億円(8.5%)の増加となり過去最高となった。

また、観光消費額の総額を総観光客数で除した1人当たりの観光消費額は、前年より200円(3.9%)増加し、5,285円となっている。

図-17 観光消費額の推移



(注) 1人当たり観光消費額=総観光消費額/総観光客数

なお、観光消費額については、各市町が推計したものを県でとりまとめたものである。